ときわぎ国領保育園

保育日記★

１月号

平成 27 年５月より、ページをリニューアルした「保育日記★」！毎月更新しています。
保育中に出会った子ども達の素敵な姿や、楽しいエピソードなどをお伝えしていきます。

見守る大切さ

2015.12　りす組　１歳児クラス

こちらはお着替えの時の様子です。
お着替えも、保育者の手を借りずに自分でできる子が増えてきています。

りす組は最近、トイレに行くときのオムツやズボンの脱ぎ着を保育者の手を借りずに自分でできる子が増えてきています。

Ｙ君は普段は「やって」と言ったり、自分から手を伸ばさず保育者が手伝ったりすることも多いのです。「ズボン脱ごうね」とか、少し手伝った後で「ここからは自分でやってみない？」などと声をかけるのですが、なかなか気が進まない様子です。

トイレに女の子二人がいた時の事です。近くにいたＹ君、二人がスッスッとズボンとオムツを脱いでトイレに座ったのが目に入ったのでしょうか、Ｙ君もその場で、スルスルとズボンを脱ぎ始めトイレにスムーズに入っていきました。

子どもが自分から何かをする前に、つい大人が「〇〇しよう」や「△△してみない？」と声をかけてしまいがちですが、
Ｙ君が自ら意欲的に取り組む姿を見て、見守ることの大切さを感じました。

記事：杉木

保育者が日々、声を掛けていくことも大切です。ですが同年齢の子が手本となり真似をして覚える事や、ほかの人が出来て自分が出来ない悔しい思いを抱くのも大切です。たとえば、トイレに行くときに１人だけ連れて行くときには見えない事も、複数人で行った時に見えてくることもあり、よい刺激となったのでしょう。
周りの友達の行動も見えてくる、そんな成長をしたこともよく分かりますね。

ときわぎ広場で会いましょう☆

2015.12　全クラス

ときわぎ広場のある夕方は
保育園のホールに人がいっぱいになります☆

ホールの本棚の前でじっくり本を読んでもらったり、色々楽しんでくれているようです。

ときわぎ国領保育園には、夕方に保護者の方とお子さんが自由に参加していただく“ときわぎ広場”というものがあります。
１～２か月に一回、開催されます。簡単な作り物をしながら親子が楽しむ場、保護者同士の交流の場、職員とのんびりお話をする場になったら良いなと、３年ほど前から機会を設けています。

その中でも特に賑わったのは、12 月のクリスマスリース作りではないでしょうか？！昨年の好評に続き、今年も行いました。

クリスマスリースを飾る木の実がズラ～ッと並びます。どれにしようかなぁ

保護者の方と、どこにつけようかと相談☆
グルーガンは熱いから大人ね、もっと木の実持ってきて。と役割分担を上手にする方もいました。

小さな妹・弟も友だち同士でお世話をしたり…色々な組み合わせのテーブルが広がっています。

出来上がり～っ
カメラを持っていると撮って撮って～と作品撮影を求められました♫
みんな自分の作品に誇らしげです。

お母さんやお父さんの他、おじいちゃんやおばあちゃんと参加される方もいます。壊れないように、そっと持って帰ります。

このクリスマスリース作りの他、風車を作ろう、牛乳パックブーメラン作り、乳児のプールに入ろう（日中開催）、新聞紙遊び、木の実アート、七夕飾り（切り紙細工）など、子どもも大人も楽しめるようなものを考えています。

記事：望月

作品を作る回では、ついつい夢中になってしまうものも多く、完成すると大人の方も一緒に達成感を感じ、喜びを共有している姿が見られ、私たちも嬉しく思います。色々なクラスのご家庭に参加して頂いていることで、たまたま隣り合った人と会話をしたり、自分のクラス以外の職員と話をしたりする機会になっています♫
保護者の方から「毎回楽しみにしています」というお声を聴くと職員も次回に向けて力が入ります。

寒い冬でも、元気に遊ぶ！

2016.1.5　ぞう緑組　４歳児クラス

公園に着いて準備体操！
しっかり足の裏が伸びた伸脚でしょう。みんなとても上手です。

保育園の子ども達は、寒い冬も天気の良い日は外へ遊びに出ます。寒くなってくると体が思うように動かず、思わぬケガを招くことがあります。また反対に「さむ～い」と縮こまって体を動かさない子もいるので、戸外で遊ぶ前には、準備体操とマラソンを取り入れています。

準備体操は足の屈伸、伸脚、上体の前後屈などです。はじめは伸ばすところを、上手に伸ばせなかったりする子もいましたが、体操教室で教わったり、丁寧に伝えていくことで、今はみんなしっかりできています。

準備体操で体をほぐしたり、マラソンで体を温めたりすることで、けが予防になること。寒くても、マラソンすると、すぐ体は温かくなることを子ども達にも伝えています。

毎回行うことで、最近では子ども達の中で習慣づいてきたようです。
子ども同士で「さむいね、はしろう！」と話していたり、暖かくなると自分で上着を脱いだり、また「このくらいなら さむくない」とはじめから上着を園に置いて行ったり、自分たちで考え行動するようになっています。

日々の習慣で行っていることも、理由を伝えることで、子どもの身についてきたようです。
寒い冬でも、楽しく、安全に遊んでもらいたいと思っています。

記事：樽味

ただ単に「体操しよう」と伝えるだけでなく、体を温めることでケガをしにくくなること等、目的を伝えたうえで体操をすると、子ども達も何となく体操をするのではなく、「体を温めるために体操をしなくちゃ！」と意識を高めて取り組むことが出来ますね。幼児クラスの子ども達は、そのような目的や理由を日々伝えていくことで。自分でも考える力が養われていくと思います。